

年頭のごあいさつ



周防大島町長
中 本 富 夫

平成十七年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
周防大島町は、昨年十月一日に地域の結びつきが最も深い大島郡四町が合併し、歴史的な第一歩を踏み出しました。

私たちの多くの先人の方々が築き上げてきた長い歴史と地域固有の文化、美しく豊かな自然環境を継承しながら、二万三千人の町民の皆様の知恵と工夫を大いに活かし、子どもからお年寄りまでのすべての住民が、元気に笑顔で安心して暮らすことができる町づくりを目指したいと思えます。そのためには、住民・地域・行政がそれぞれの役割と責任を持ち、主体的かつ自立した新しい町づくりを進めていかなければなりません。

周防大島町に「住んで良かった。ずっと住んでいたい。また、暮らしたい。」という町の実現のため誠心誠意取り組みつつ、常に時代の要請に応えられる新たな施策に挑戦して参りたいという思いを新たにしているところでもあります。

さて、一島一町の合併であることから、新町を取り巻く社会環境をはじめとして、様々な厳しい条件がありますが、住民と行政が心を通わせ、お互いに協力し合って「心の通う町づくり」に取り組んでいくことが大切なことだと思っております。また、新町建設計画の趣旨に添った町づくりを進める上で、旧四町の一体性を高め、さらなる地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図ることが、新しい町づくりの基本であります。

この基本方針に基づき、「元気にここに心安心で二十一世紀にはばたく先進の島」の地域づくりを進めていくためには、職員の意識改革や政策形成能力の向上と併せ、時代の移り変わりに常に目を向け、新しい考え方で対応できるよう努力していかなければなりません。

新しい時代にふさわしい町づくりを進めるためには、議会はもとより町民皆様のご協力が不可欠であります。どうかなお一層のご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。